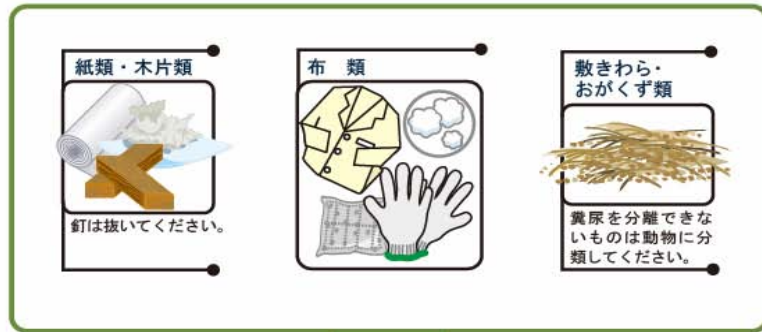


(参考)

R I 廃棄物処理の状況について

# RI廃棄物の分類

## 可燃物



ポリ袋または内容器に収納します



ポリ袋



内容器

●ドラム缶には2個入ります。

- 大袋で1つにまとめず、2～3個の小袋にしてドラム缶に入れてください。
- 厚手のポリ袋をご利用ください。(塩化ビニル袋は不可)

ドラム缶に収納します

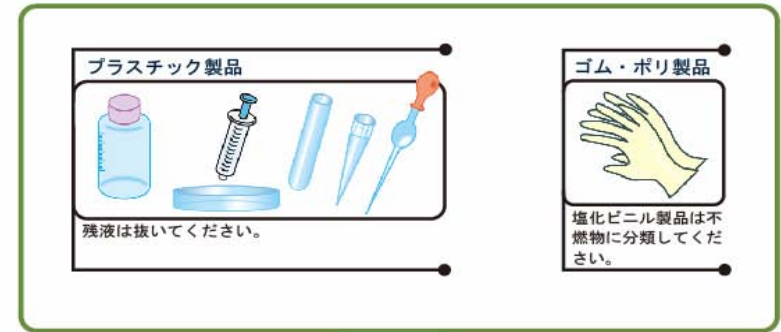


ドラム缶には医療用と研究用がありますので、それぞれ分けて収納してください。

**注意**

- ・ポリ袋はテープ等を用いてきつく封をしてください。
- ・十分に乾燥してください。
- ・破碎、圧縮、焼却、乾溜、熔融等の減容処理等はやらないでください。

## 難燃物



ポリ袋または内容器に収納します



ポリ袋



内容器

●ドラム缶には2個入ります。

- 大袋で1つにまとめず、2～3個の小袋にしてドラム缶に入れてください。
- 厚手のポリ袋をご利用ください。(塩化ビニル袋は不可)

ドラム缶に収納します



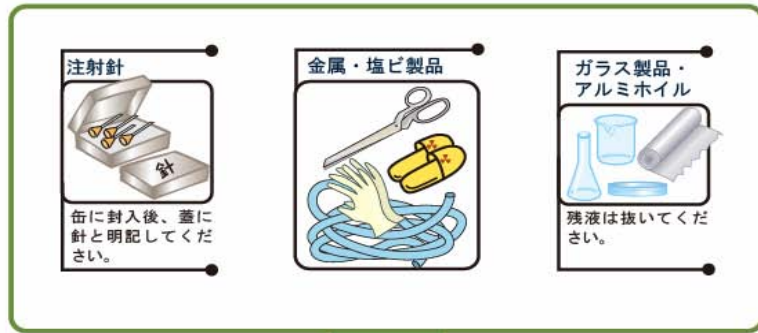
ドラム缶には医療用と研究用がありますので、それぞれ分けて収納してください。

**注意**

- ・ポリ袋はテープ等を用いてきつく封をしてください。
- ・十分に乾燥してください。
- ・破碎、圧縮、焼却、乾溜、熔融等の減容処理等はやらないでください。
- ・シリコン、テフロン、塩化ビニル製品、アルミ箔、鉛含有品が混入しますと焼却処理できまないので、不燃物に分類してください。

# RI廃棄物の分類

## 不燃物



ポリ袋または内容器に収納します



ポリ袋



内容器

- 大袋で1つにまとめず、2~3個の小袋にしてドラム缶に入れてください。
- 厚手のポリ袋をご利用ください。(塩化ビニル袋は不可)

- ドラム缶には2個入ります。
- 針を入れたものは天蓋に「針」と明記してください。

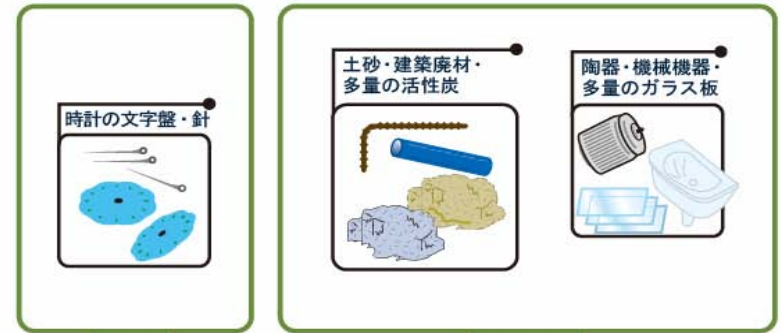
ドラム缶に収納します



ドラム缶には医療用と研究用がありますので、それぞれ分けて収納してください。

- 【注意】**
- ・ポリ袋はテープ等を用いてきつく封をしてください。
  - ・十分に乾燥してください。
  - ・破碎、圧縮、焼却、乾溜、熔融等の減容処理等はやしないでください。
  - ・注射針等の感染のおそれのあるものは滅菌してください。
  - ・注射針は金属製の缶に入れ、蓋が外れないようにガムテープ等で留め、ポリ袋に入れてください。また注射針を直接内容器に入れる場合も、蓋をガムテープ等で留めてください。
  - ・はさみ、ガラス等の先端が鋭利なものは内容器をご利用ください。

## 非圧縮性不燃物



ポリ袋にまとめてペール缶に収納してください

厚手のポリシート、ポリ袋で包むか、内容器に収納してください

ポリ袋、金属製ペール缶

ポリ袋、ポリシート、内容器

- ドラム缶には2個入ります。
- 厚手のポリ袋をご利用ください。(塩化ビニル袋は不可)

- 厚手のポリシート、ポリ袋をご利用ください。(塩化ビニルのものは不可)

ドラム缶に収納します

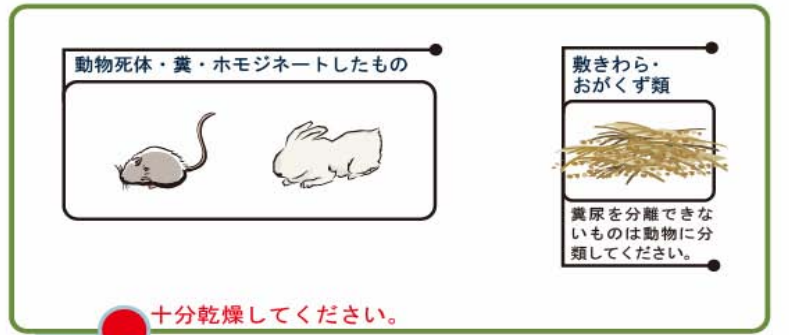


ドラム缶には医療用と研究用がありますので、それぞれ分けて収納してください。

- 【注意】**
- ・ポリ袋はテープ等を用いてきつく封をしてください。
  - ・十分に乾燥してください。
  - ・ドラム缶込みの重量は50kg程度にしてください。50kgを超える場合、ドラム缶の天蓋にその総重量を記入してください。
  - ・金属製のペール缶は販売しています。所定用紙にてご注文ください。

# RI廃棄物の分類

## 動物



- 動物収納内容を必ずご利用ください。無償ですので「RI廃棄物容器借用 申込書」にてお申込みください。
- 動物はチャック付ポリ袋に入れ、内容器に収納し、さらにチャック付ポリ袋に入れてください。
- チャック付ポリ袋、内容器はしっかりと口を閉めてください。
- 破碎、圧縮、焼却、乾溜、溶融等の減容処理等はいしないでください。

## 無機液体

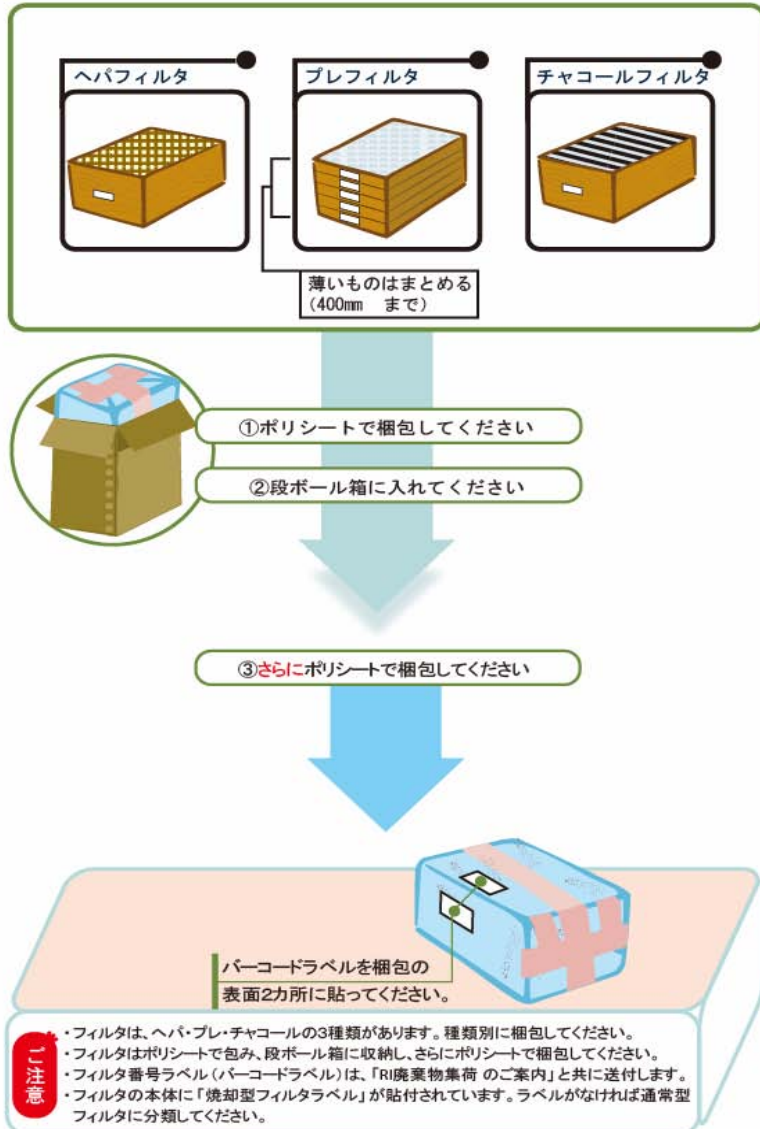


- 高粘度の液体、可燃性液体は収納しないでください。
- pHは2~12にしてください。pH調整には塩素を含む試薬を使用しないでください。
- pH調整によって液体の塩濃度が高くなりすぎないようにご注意ください。
- 指定のポリびんを使用してください。

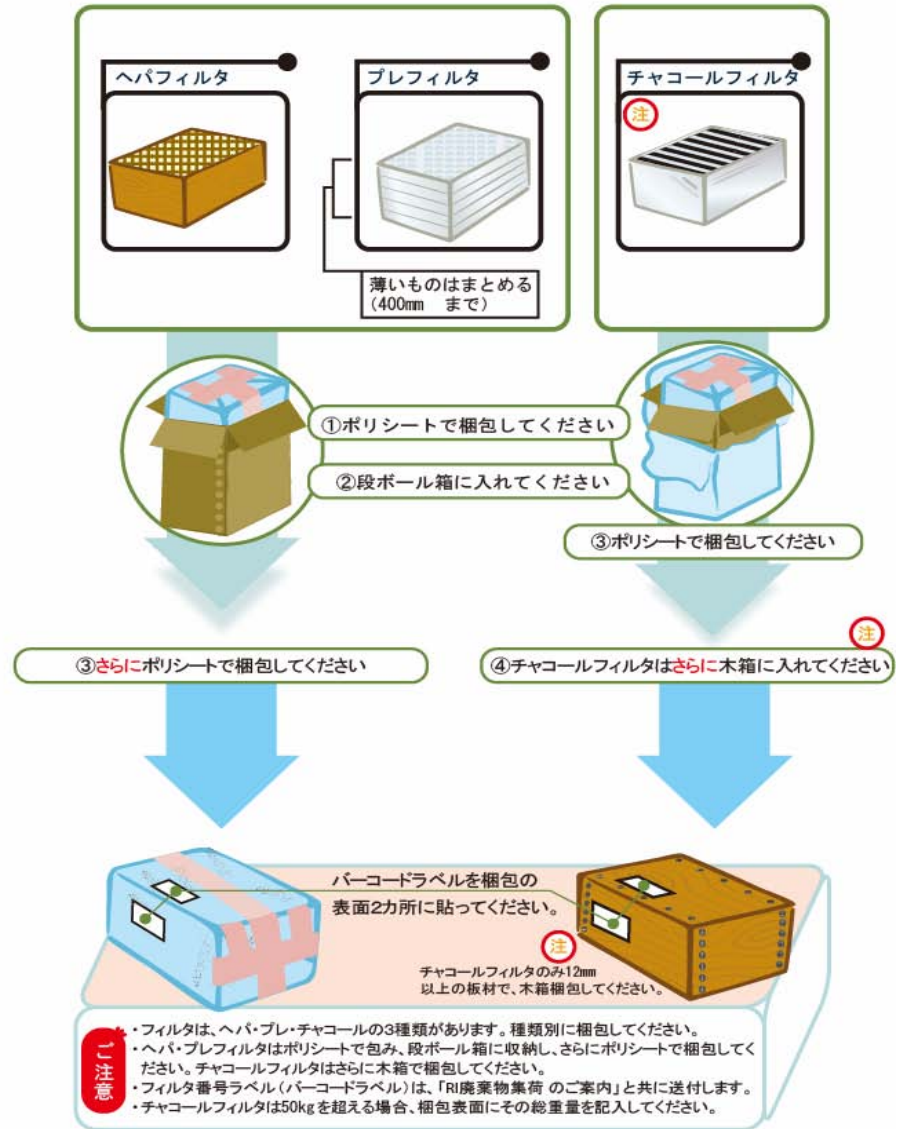


# RI廃棄物の分類

## 焼却型フィルタ



## 通常型フィルタ



# 固体廃棄物の処理

固体廃棄物は、焼却または圧縮により処理を行います。焼却処理設備は焼却炉、セラミックフィルタ、高性能フィルタ、排ガスブロア等で構成されています。焼却炉はたて型円筒の自然炉で処理能力は約70kg/hです。排ガスは二次燃焼と除じんを兼ねたセラミックフィルタで浄化した後、さらに高性能フィルタで浄化し、排ガスモニターで放射能濃度を連続監視しながら排気口から排気します。

圧縮処理装置は油圧を用いたたて型三方締めで、廃棄物をタンブルリフトで圧縮室へ投入し、各50トンの第一軸、第二軸シリンダで仮圧縮し、最後に200トンの第三軸シリンダで本圧縮します。

廃棄物は焼却処理によって約1/400、圧縮処理によって約1/4に減容し、所定の容器に詰めて保管廃棄設備に保管します。

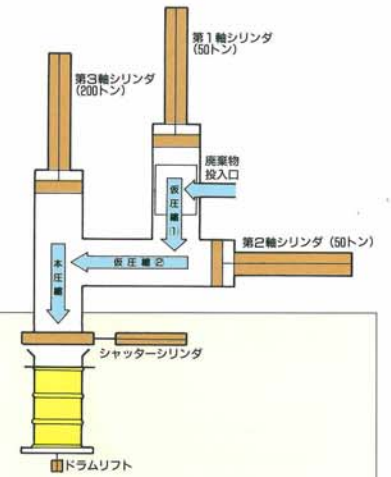


焼却処理設備

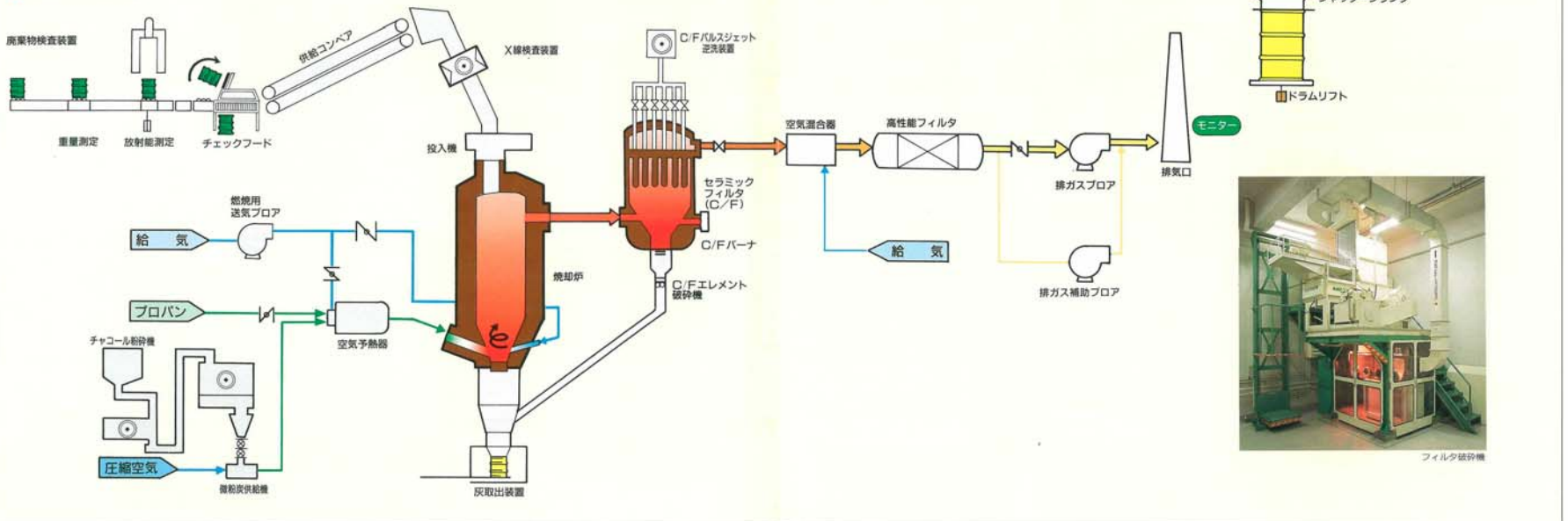


圧縮処理装置

## ■ 圧縮処理装置



## ■ 焼却処理設備



フィルタ破砕機

出典：パンフレット「RI 廃棄物の集荷について」（日本アイソトープ協会）



# 液体廃棄物の処理

液体廃棄物は、蒸発濃縮と攪拌乾燥により処理を行います。

蒸発濃縮装置はリボイラをそなえた二重効用型蒸発缶を使用し、濃縮倍率は約500倍です。蒸発水分は凝縮器（コンデンサ）により回収し、さらに活性炭吸着塔とイオン交換塔で浄化し、放射能濃度を測定したうえで排水します。

攪拌乾燥機は機内を負圧状態にして攪拌しながら水分を蒸発させ、液体廃棄物を含水量約20%の乾燥体にします。

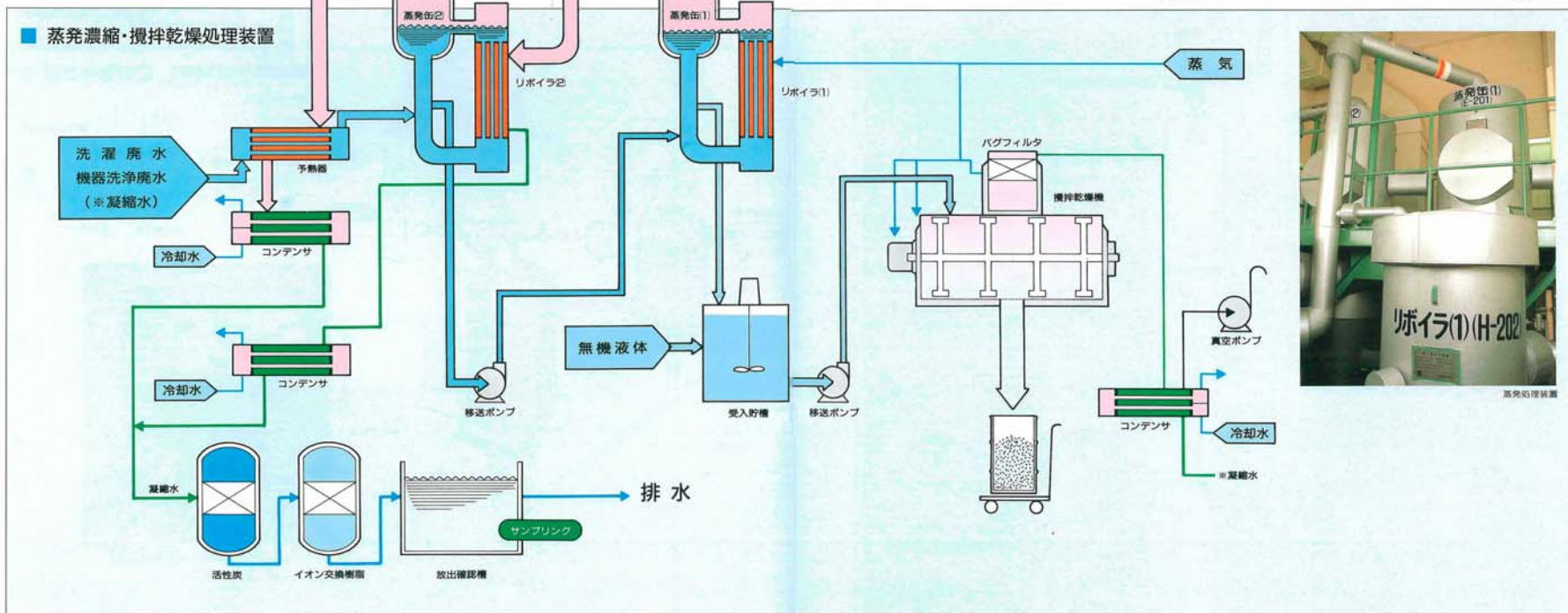
処理能力は蒸発濃縮装置が約2m<sup>3</sup>/h、攪拌乾燥機が約1m<sup>3</sup>/dです。処理によって発生した乾燥体は所定の容器に詰めて保管廃棄設備に保管します。



攪拌乾燥機



液体廃棄物貯蔵



蒸発処理装置

出典：RI 廃棄物の集荷について（日本アイソトープ協会）